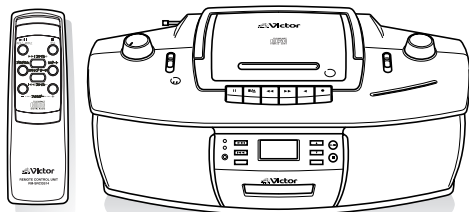
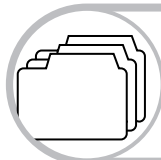
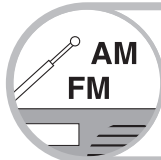
CDポータブルシステム

型名 RC-QS14

取扱説明書

お使いになる前に

準　備

CDを聞く

MP3を聞く

カセットテープを聞く

AM FM ラジオを聞く

録音する

こまったときには

付　録

お買い上げありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3〜5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1443-001A

もくじ

お使いになる前に

安全上のご注意
　ーはじめにお読みくださいー .. 3
使用上のご注意 6
付属品の確認 6
各部の名前 7
本体/正面 7
本体/背面 8
リモコン 8

準　備

電源とリモコン 9

CDを聞く 12

CDをくり返し聞く（リピート再生） 14
CDを好きな曲順で聞く（プログラム再生） ... 15

MP3を聞く 18

MP3をくり返し聞く（リピート再生） 20
MP3を好きな曲順で聞く（プログラム再生） 21

カセットテープを聞く 24

ラジオを聞く 26

録音する

CDまたはMP3を録音する 28
ラジオ放送を録音する 29
内蔵マイクで音声を録音する ... 30
録音した内容を消去する（無音録音） ... 31

こまったときには

故障かな?と思う前に 32

付　録

お手入れについて 33
CDについて 34
MP3ディスクについて 35
カセットテープについて 36
保証とアフターサービス
　（必ずお読みください） 37
ビクターサービス窓口案内 38
主な仕様 39

安全上のご注意 －はじめにお読みください－

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと人が死亡、または重傷を負う可能性がある内容です。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと人が傷害を負う、または物的損害が生じる可能性がある内容です。

絵表示について

注意・警告が必要な事項
（図中に具体的な注意内容）

禁止されている事項
（図中に具体的な禁止内容）

実行して頂きたい事項
（図中に具体的な実行内容）

万が一こんな時は

- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき

そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

電源スイッチを「切」にする／電源プラグを抜く

販売店に修理を依頼してください

⚠警告

■電源コードを傷つけない。

加工したり、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、熱器具に近づけるなどしないでください。

■表示された電源電圧（交流100ボルトまたは直流12ボルト）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

接触禁止

■雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグに触れない。

感電の原因になります。

■風呂場やシャワー室では使用しない。

火災や感電の原因になります。

分解禁止

■分解や改造をしない。

火災や感電の原因になります。
この製品はクラス1レーザ製品です。
内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

■本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

■本機の上に水などの入った容器や重いものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む。

発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因になります。

■電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間にゴミやホコリがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き、ゴミやホコリを乾いた布で取ってください。

⚠注意

■電源プラグはコードの部分を持って抜かない。

コードの損傷による火災や感電の原因になります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。

■通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のことに注意してください。

- ●あお向けや逆さまにしない
- ●本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- ●テーブルクロスを掛けない
- ●じゅうたんや布団の上に置かない
- ●設置するときは、壁などから10cm以上離す

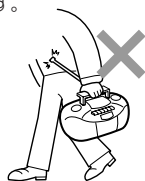
■移動するときは、電源プラグを抜く。

コードの損傷による火災ややけどの原因になります。

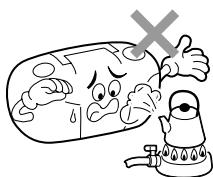
■長期間使用しないときや、お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

- ●感電の原因になります。
- ●電源スイッチが「切」でも本機には電気が流れています。

■移動するときは、アンテナをたたむ。

けがの原因になります。

⚠注意

■次のような場所には置かない。

●湿気やほこりの多い所
●暖房器具の近くや直射日光の当たる所などの高温になる所
●調理台や加湿器のそばなど、煙や湯気が当たる所

■はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

■イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

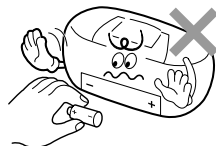
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。

■3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

■電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

●指定以外の電池を使用しない
●電池を加熱・分解しない
●火や水の中に入れない
●乾電池は充電しない
●電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない、ショートさせない

●一度使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない
●長期間使わないときは、電池を取り出しておく
●交流100ボルト電源で使うときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

■ 本機やカセットテープ、CDの置き場所について

故障などを防止するため、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこりの多い所
- 直射日光が当たる場所や暖房機のそば
- アンプやテレビのすぐそば
- 不安定な所
- 極端に寒い所
- 磁気を発する所
- 振動の激しい所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 寒い所から暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

■ 露がついたら

次の場合、本機のレンズに露（水滴）が付いて、CDが正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

■ ヘッドホンについて

ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

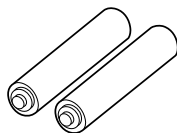
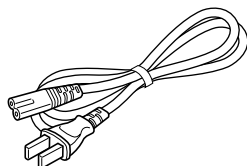
■ ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなど、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットシンボルです。

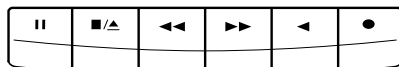
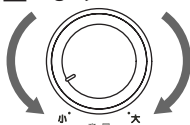
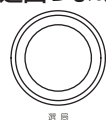
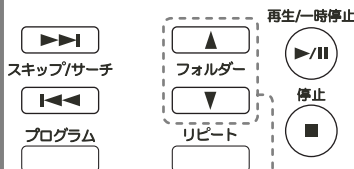
付属品の確認

お使いになる前に、付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SRCQS14
（1個）

単4形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

各部の名前

本体/正面

ファンクションスイッチ
CD
テープ 電源 切
ラジオ
ファンクション
本機を使用しないときは、テープ 電源 切に合わせます。
▶12、24、26ページ
音量つまみ
小
音量
大
音量が下がる
音量が上がる
マイク
マイク
▶30ページ
電源ランプ
本機の電源を入れると、この電源ランプが点灯します。
CDドア
▶12ページ
テープ操作ボタン
一時停止
停止/取出し
早送り
巻戻し
再生
録音
▶24ページ
PUSH
CD取り出し部
▶12ページ
選曲つまみ
選 局
▶26ページ
Victor
選曲メモリ
▶26ページ
FM/TV 76 80 84 88 92 1 2 3 MHz/ch
AM 53 60 70 80 100 120 140 160 x10kHz
表示窓
(ディスプレイ)
CD/MP3操作ボタン
スキップ/サーチ
プログラム
フォルダー
リピート
再生/一時停止
停止
MP3専用操作ボタン
バンドスイッチ
▶26ページ
FM
/TV
AM
バンド

各部の名前（つづき）

本体/背面

リモコン

►/II
再生/一時停止
CD または MP3

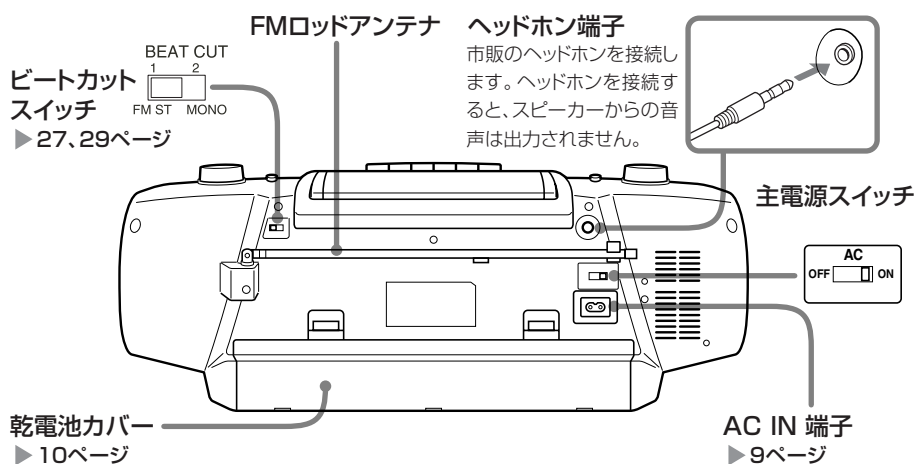
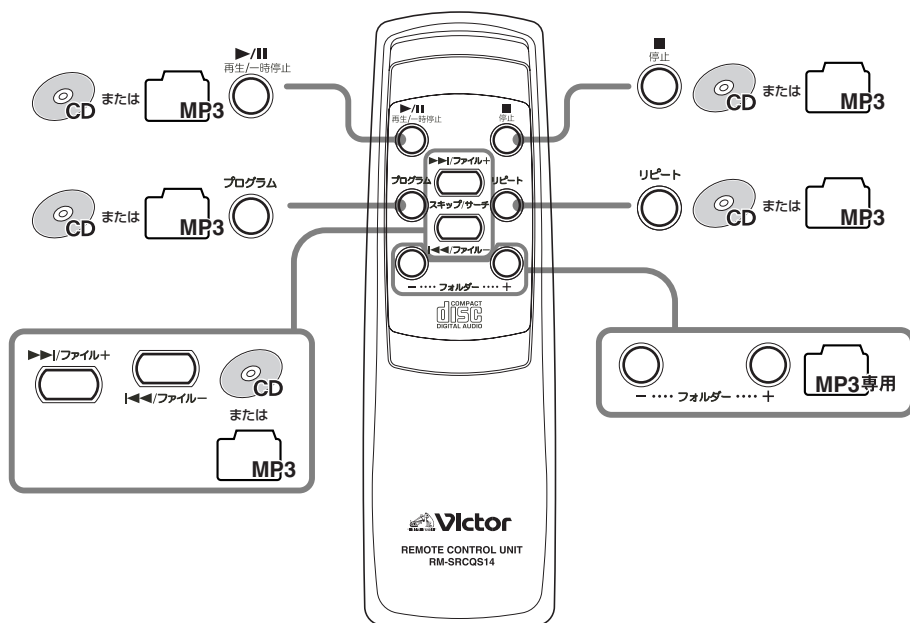
■
停止
CD または MP3

プログラム
CD または MP3

リピート
CD または MP3

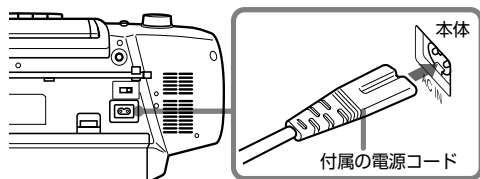
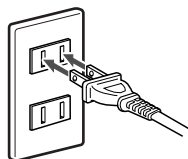
►►I/ファイル＋
I◄◄/ファイル－
CD
または
MP3

－ ････ フォルダー ････ ＋
MP3専用

►/II 再生/一時停止
■ 停止
►►I/ファイル＋
プログラム
リピート
スキップ/サーチ
I◄◄/ファイル－
－ ････ フォルダー ････ ＋
COMPACT disc DIGITAL AUDIO
Victor
REMOTE CONTROL UNIT
RM-SRCQS14

電源とリモコン

家庭用コンセント、または乾電池で使用することができます。

■ 家庭用コンセントで使う

1 付属の電源コードを本体のAC IN端子に差し込む。

2 家庭用コンセントに差し込む。

注意

・形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。

・付属のコードは本機以外の機器には使用しないでください。

・主電源スイッチを「OFF」にすると、電源コードを接続しても電源は入りません(工場出荷時はON)。

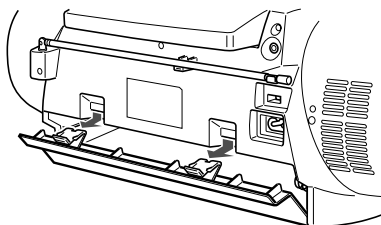
お知らせ

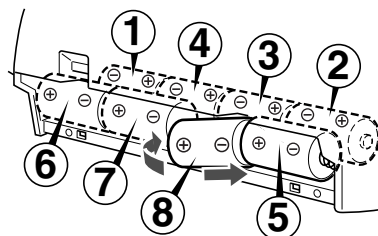
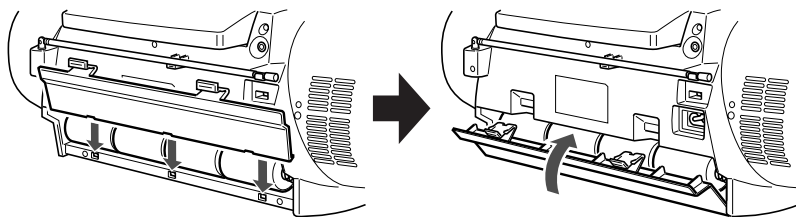
・電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、ビクターサービスセンター(▶38ページ)にお問い合せください。

・長時間使用しないときは、安全と節電のためコンセントから電源コードを抜いておきましょう。

■乾電池で使う

電源コードが本体に接続されていると、乾電池では使用できません。乾電池で使用するときは、必ず電源コードを抜いてください。

1 乾電池カバーを外す。

2 単1形乾電池（市販）を、番号順に8本入れる。

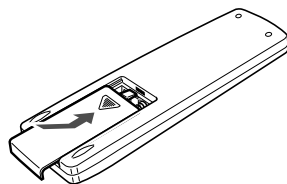
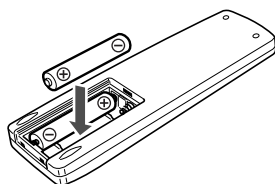
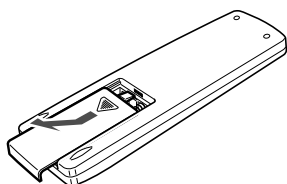
乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを右図に従って正しく入れてください。

3 乾電池カバーを元通りに閉める。

お知らせ

・乾電池が消耗してくると、音が小さくなったり音が割れたりします。このようなときは、8本とも、同じ種類の新しい乾電池と交換してください。

・長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

・座ぶとんなどで本機の前面を保護し、安定した状態で電池を入れてください。

■リモコン乾電池の入れかた

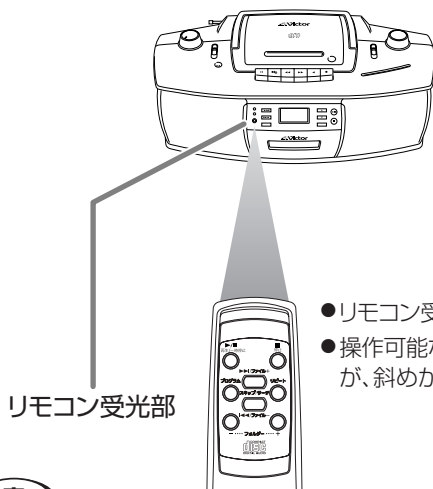
裏ブタを外す。 ➡ 単4形乾電池を、2本入れる。➡ 裏ブタを閉める。

乾電池のプラス（＋）とマイナス（−）の向きを表示に従って正しく入れてください。

矢印の方向に戻します。

お知らせ

・リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗しています。このようなときは、2本とも、同じ種類の新しい乾電池と交換してください。

・付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。交換するときは、乾電池のプラス（＋）とマイナス（−）の向きを表示に従って正しく入れてください。

■リモコン操作のしかた

●リモコン受光部に正しく向けて操作してください。

●操作可能な距離は、リモコン受光部より約7mですが、斜めから操作すると短くなります。

注　意

・リモコンを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

・他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。

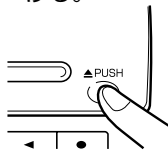
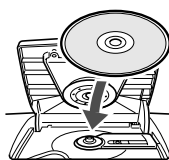
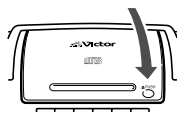
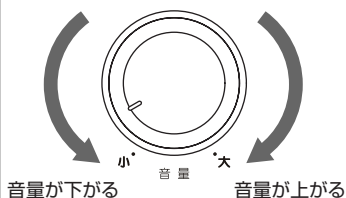
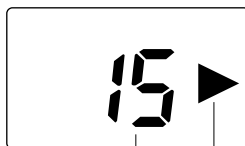
・次のような状態で使用しないでください。動作しないことがあります。

　・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき

　・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げるものがあるとき

CDを聞く

CDの演奏を楽しむための基本的な手順を説明します。

▶▶ CDを聞く前に、「CDについて」(▶34ページ)をご覧ください。
▶▶ もっと詳しく機能を知りたいときは、▶14～17ページをご覧ください。

■ 演奏を停止する

停止 ■ を押します。

総曲数が表示されます。

■ 一時停止する

再生/一時停止 ►/II を押します。

再生表示が点滅します。

もう一度 再生/一時停止 ►/II を押すと、一時停止したところから演奏を再開します。

■ 聞きたい曲を頭出しする（スキップ）

● スキップ/サーチ I◄◄ を押すたびに、1曲ずつ戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。

● ►►I スキップ/サーチ を押すたびに、次の曲に送られます。

■ 演奏中に早送り・早戻しする（サーチ）

●演奏中に スキップ/サーチ I◄◄ を押したままにすると、早戻しすることができます。

●演奏中に ►►I スキップ/サーチ を押したままにすると、早送りすることができます。

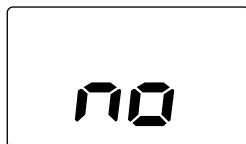
お知らせ

・早送り、早戻しの最中は、音が小さくなります。

・次のようなときは、「no」と表示されますので、CDを正しく入れ直すか、または演奏できるCDを使用してください。

–CDにゴミやキズが付いているとき

–裏表を逆に入れたとき

–演奏できないCDを入れたとき

・本機に強い衝撃を与えたり、振動の多いところで使用すると、音飛びを起こすことがあります。

・CDの内容によっては、音飛びを起こすことがあります。このようなときは音量を下げてお聞きください。

・本機を持ち運びするときは、CDトレイからCDを取り出しておいてください。

CDをくり返し聞く（リピート再生）

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

ファンクションスイッチをCDに合わせてから操作してください。（▶12ページ）

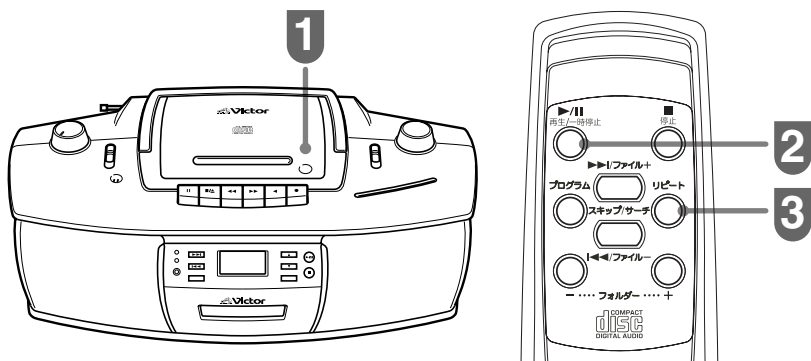
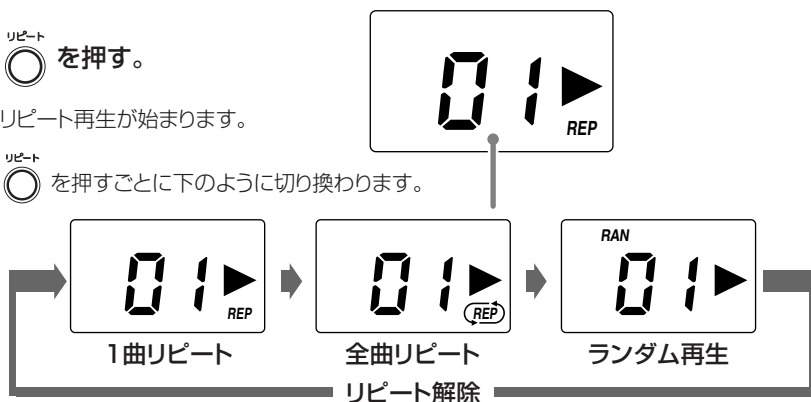
1 CDを入れる。

2 ▶/II 再生/一時停止 を押す。

3 リピート を押す。

リピート再生が始まります。

リピート を押すごとに下のように切り換わります。

1曲リピート → 全曲リピート → ランダム再生 → リピート解除

「RAN」と表示されているときは、本機が無作為に選んだ曲がリピート再生(ランダムリピート再生)されます。

■ リピート再生をやめるときは

リピート を何度か押して、REPEAT表示を消します。

CDを好きな曲順で聞く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番で再生することができます。最大で20曲プログラムすることができます。

ファンクションスイッチをCDに合わせてから操作してください。（▶12ページ）

1 CDを入れる。

2 プログラム を押す。

本体の表示部に「PRO.」と「プログラム番号」が点滅表示されます。

（次ページへ続く）

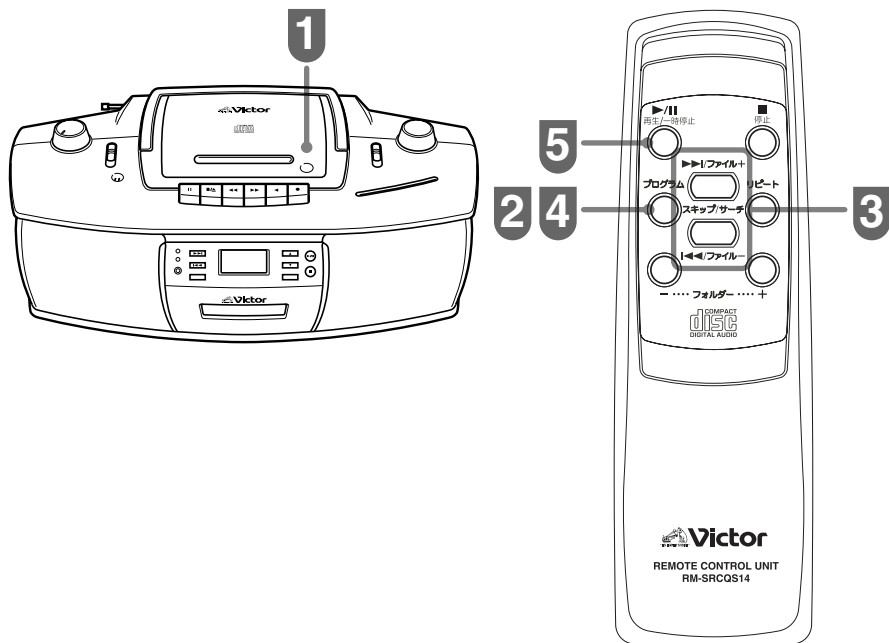
3 ▶▶I/ファイル＋ または I◀◀/ファイル－ を押して曲番号を選択する。

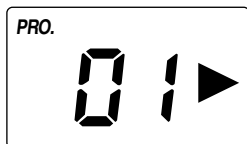
本体の表示部に「PRO.」と「曲番号」が点滅表示されます。

4 プログラム を押す。

選択した曲番号がプログラム（登録）されます。

続けてプログラム（登録）するには、手順3と4をくり返します。

5 プログラム設定が終了したら、▶/II 再生/一時停止 を押す。

本体の表示部に「PRO.」が表示され、プログラムした順番に再生が始まります。再生が終了すると自動停止します。

▶/II 再生/一時停止 のかわりに プログラム を押すと、登録した曲番号が連続で表示され内容を確認できます。

表示終了後に ▶/II 再生/一時停止 を押すと、再生が始まります。

お知らせ

・プログラム再生と全曲リピート再生を組み合わせて使うこともできます。

プログラムを取り消すときは

CDが停止して「PRO.」が表示中に、停止(■)を押します。
CDドアをあけたときもプログラムは取り消されます。

プログラムの内容を変更するときは

CDが停止状態のときに、プログラム をくり返し押すとプログラム番号が表示されます。

1 変更したいプログラム番号を表示させます。

2 ▶▶I/ファイル＋ または I◀◀/ファイル－ を押して、登録したい曲番号を表示させます。

3 プログラム を押します。

プログラムの最後に登録を追加するときは

CDが停止状態のときに、プログラム をくり返し押すとプログラム番号が表示されます。

1 追加するプログラム番号を表示させます。
（例では7曲をすでに登録してあるとき）

2 ▶▶I/ファイル＋ または I◀◀/ファイル－ を押して、登録したい曲番号を表示させます。

3 プログラム を押します。

（例）

プログラム を押し続ける

プログラム を押す

8曲目が表示されます。

手順2の操作をしないで プログラム を押すと、登録した曲番号が連続表示され、内容を確認できます。

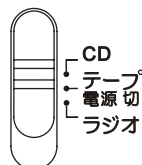
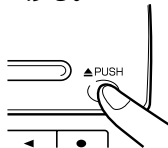
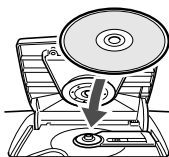
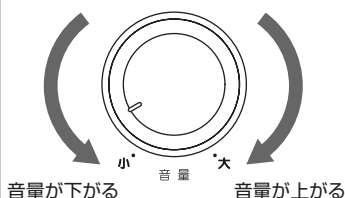
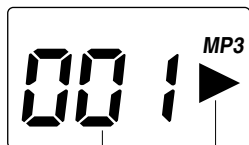
「－－－」と表示されたときはプログラム登録がいっぱいです（最大20曲）。これ以上登録することはできません。

プログラム をもう一度押すとプログラム内容が表示されます。

MP3を聞く

MP3の演奏を楽しむための基本的な手順を説明します。

▶▶ MP3を聞く前に、「CDについて」(▶34ページ)と「MP3ディスクについて」(▶35ページ)をご覧ください。

▶▶ もっと詳しく機能を知りたいときは、▶20〜23ページをご覧ください。

■ 演奏を停止する

停止 (■) を押します。

総フォルダー数が表示されます。

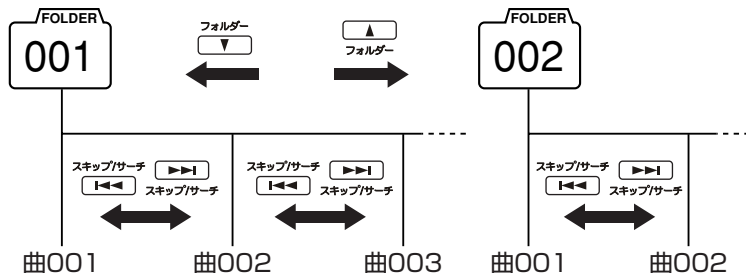
■ 一時停止する

再生/一時停止 (►/II) を押します。

再生表示が点滅します。

もう一度 再生/一時停止 (►/II) を押すと、一時停止したところから演奏を再開します。

■ 聞きたい曲を頭出しする（スキップ）

- ▲フォルダー または フォルダー▼ を押すと、曲が入っているフォルダーを移動します。
- スキップ/サーチ |◄◄ を押すたびに、1曲ずつ戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。
- ►►| スキップ/サーチ を押すたびに、次の曲に送られます。

お知らせ

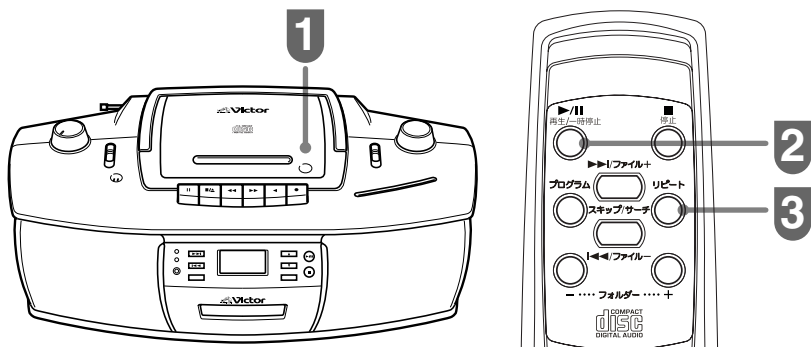
- ・演奏中の曲を早送り、早戻しすることはできません。
- ・曲目、アーティストなどのテキストデータは表示されません。
- ・次のようなときは、「no」と表示されますので、CDを正しく入れ直すか、または演奏できるCDを使用してください。
  - –CDにゴミやキズが付いているとき
  - –裏表を逆に入れたとき
  - –演奏できないCDを入れたとき
- ・本機に強い衝撃を与えたり、振動の多いところで使用すると、音飛びを起こすことがあります。
- ・CDの内容によっては、音飛びを起こすことがあります。このようなときは音量を下げてお聞きください。
- ・本機を持ち運びするときは、CDトレイからCDを取り出しておいてください。

MP3をくり返し聞く（リピート再生）

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。
ファンクションスイッチをCDに合わせてから操作してください。（▶18ページ）

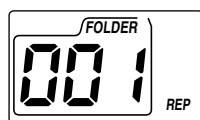
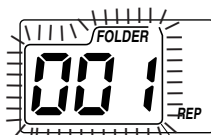
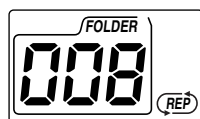
1 CDを入れる。

2 ▶/II 再生/一時停止 を押す。

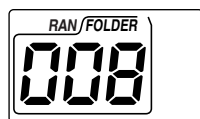
3 リピート を押す。

リピート を押すごとに右のように切り換わります。

リピート再生が始まります。

FOLDER 001 REP — 1曲のみリピート

FOLDER 001 REP — 現在のフォルダーをリピート

FOLDER 008 REP — すべてのフォルダーのすべての曲をリピート

RAN FOLDER 008 — ランダム再生

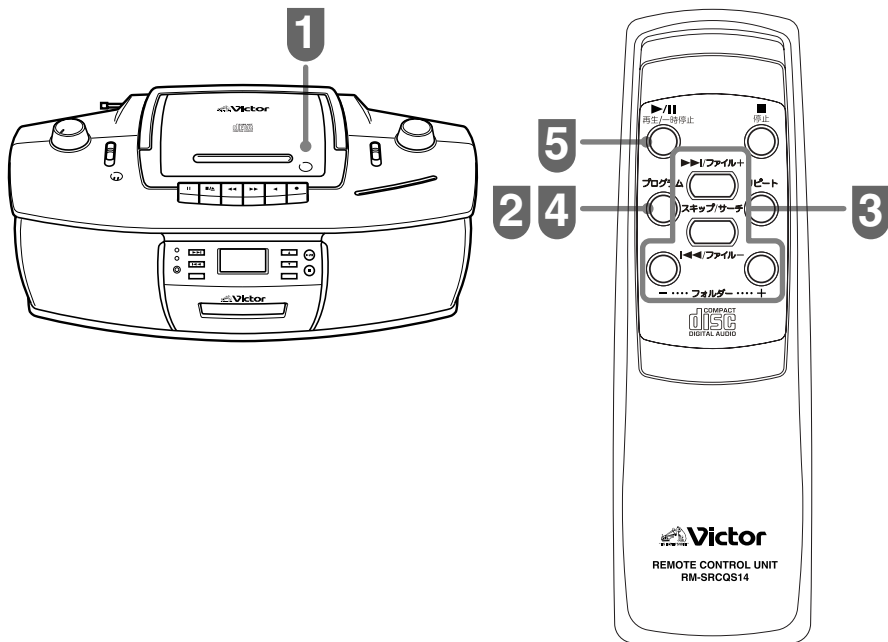
リピート解除

「RAN」と表示されているときは、本機がすべてのフォルダーから無作為に選んだ曲がリピート再生(ランダムリピート再生)されます。

■ リピート再生をやめるときは

を何度か押して、REPEAT表示を消します。

MP3を好きな曲順で聞く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番で再生することができます。最大で20曲プログラムすることができます。

ファンクションスイッチをCDに合わせてから操作してください。（▶18ページ）

1 CDを入れる。

2 プログラム ◯ を押す。

本体の表示部に「PRO.」と「プログラム番号」が点滅表示されます。

（次ページへ続く）

MP3を聞く（つづき）

3 ►►I/ファイル＋ I◄◄/ファイル－ －…フォルダー…＋ **のいずれかを押して曲番号を選択する。**

本体の表示部に「PRO.」と「曲番号」が点滅表示されます。

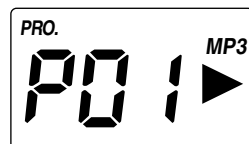
4 プログラム **を押す。**

選択した曲番号がプログラム（登録）されます。

続けてプログラム（登録）するには、手順 3 と 4 をくり返します。

5 プログラム設定が終了したら、 ►/II 再生/一時停止 **を押す。**

本体の表示部に「PRO.」が表示され、プログラムした順番に再生が始まります。再生が終了すると自動停止します。

►/II 再生/一時停止 のかわりに プログラム を押すと、登録した曲のフォルダー番号と曲番号が連続で表示され、内容を確認できます。

表示終了後に ►/II 再生/一時停止 を押すと、再生が始まります。

お知らせ

・プログラム再生と全曲リピート再生を組み合わせて使うこともできます。

プログラムを取り消すときは

CDが停止して「PRO.」が点滅中に、停止(■)を押します。
CDドアをあけたときもプログラムは取り消されます。

プログラムの内容を変更するときは

CDが停止状態のときに、プログラムをくり返し押すとプログラム番号が表示されます。

1 変更したいプログラム番号を表示させせます。

2 ►►I/ファイル＋ I◄◄/ファイル－ －…フォルダー…＋ のいずれかを押して、登録したい曲番号を表示させせます。

3 プログラム を押します。

プログラムの最後に登録を追加するときは

CDが停止状態のときに、プログラムをくり返し押すとプログラム番号が表示されます。

1 追加するプログラム番号を表示させせます。
（例では7曲がすでに登録してあるとき）

2 ►►I/ファイル＋ I◄◄/ファイル－ －…フォルダー…＋ のいずれかを押して、登録したい曲番号を表示させせます。

3 プログラム を押します。

（例）

プログラム を押し続ける

P07

プログラム を押す

8曲目が表示されます。

手順2の操作をしないで プログラム を押すと、登録した曲のフォルダー番号と曲番号が連続表示され、内容を確認できます。

►/II 再生/一時停止 を押すと、プログラム設定が終了し再生がスタートします。

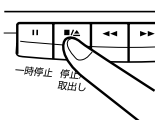
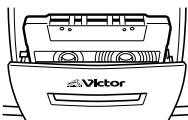
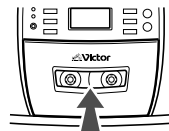
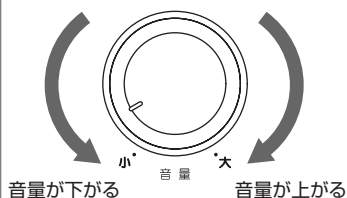
「－－－」と表示されたときはプログラム登録がいっぱいです（最大20曲）。これ以上登録することはできません。

プログラム をもう一度押すとプログラム内容が表示されます。

カセットテープを聞く

カセットテープを聞くための基本的な手順を説明します。

▶▶ カセットテープを再生する前に、「カセットテープについて」（▶36ページ）をご覧ください。

▶▶ 録音の操作については「録音する」（▶28〜30ページ）をご覧ください。

・電源が「入」になり、演奏がはじまります。
・テープが再生で巻き終わったときは自動停止します。

■ 再生を停止する

[■/⏏ 停止/取出し]を押します。

■ 一時停止する

[II 一時停止]を押します。

もう一度[II 一時停止]を押すと、一時停止したところから演奏を再開します。

■ 早送り・巻戻しする

テープが停止しているときに[◀◀ 早送り]を押すと、テープは早送りされます。

テープが停止しているときに[▶▶ 巻戻し]を押すと、テープは巻戻されます。

テープが巻き終わったら[■/⏏ 停止/取出し]を押してください。

お知らせ

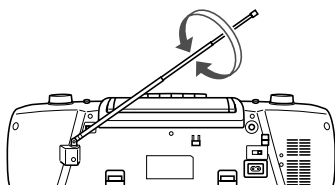
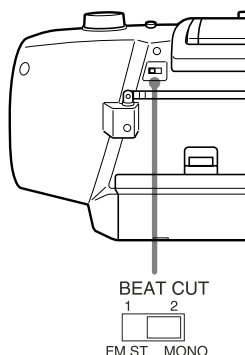
- テープを聞いているときは表示部のバックライトは点灯しません。
- C-120やC-150などの長時間テープは、故障の原因となるため使用しないでください。C-90（90分）以下の長さのテープを使用してください。
- 本機はノーマルポジション（TYPE Ⅰ）対応です。ハイポジション（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPEⅣ）には対応していません。再生しても、正しい音質で再生されません。
- テープにたるみがないか確認してください。たるみがあるときは、取り除いてください。
- 他の音源（ソース）が選択されているとき、[◀ 再生]を押すとテープは走行しますがテープの音声は出ません。

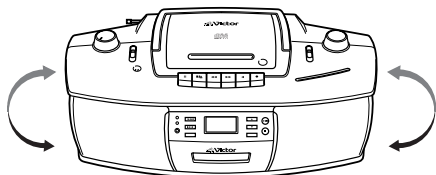
ラジオを聞く

ラジオやテレビの放送を聞くための基本的な手順を説明します。

■ よりよく受信するために

FM放送

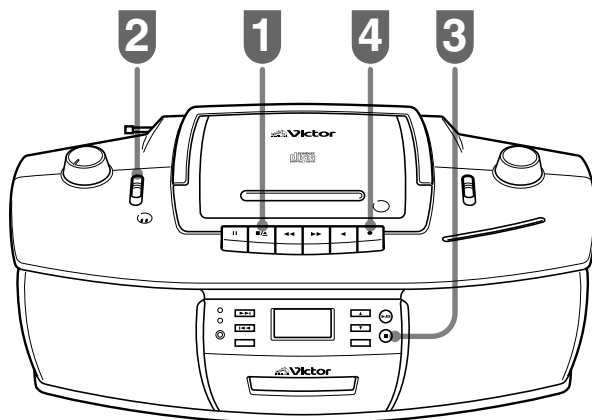
アンテナの長さ・向き・角度を調整して、最もよく受信する状態にしてください。
窓際に置くと、より受信しやすくなります。

FMステレオ放送を受信すると、FMステレオのランプが点灯します。
FMステレオ放送の雑音が多いときは、本体背面のビートカットスイッチを「MONO」に合わせます。モノラル受信に切り換わり雑音が軽減されます。ステレオ受信に戻すときは、スイッチを「FM ST」に合わせます。

AM放送

本体内部にアンテナがあります。本体を動かして、最もよく受信する向きにしてください。

お知らせ

・ラジオを聞いているときは表示部のバックライトは点灯しません。

CDまたはMP3を録音する

CDまたはMP3をカセットテープに録音することができます。

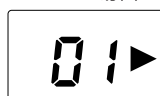
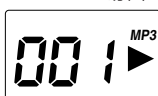
●録音レベルは、音量と関係なく自動調整されます。

1 **録音用のカセットテープを入れる。**

テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。
録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

2 **ファンクションスイッチを、CDに合わせる。**

3 停止 (■) **を押す。**

4 録音 (●) **を押す。**

CDの場合	MP3の場合
01▶	001▶ MP3

シンクロ録音機能が働き、CDまたはMP3の再生が自動的にはじまり、同時に録音も始まります。

■ 録音をやめるときは

停止/取出し (■/≜) を押します。

お知らせ

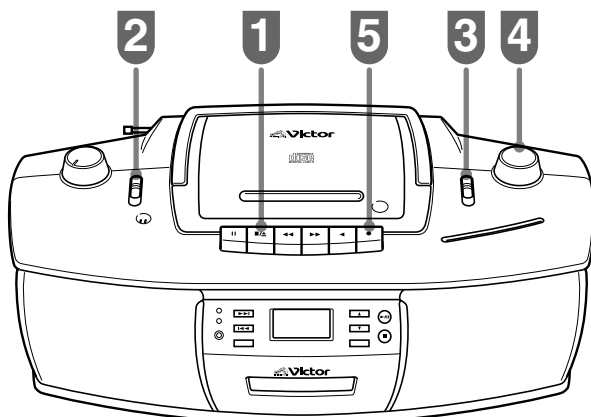
・テープが停止するとCDまたはMP3は一時停止します。

・CDまたはMP3のプログラム再生機能を使って、好みの曲順で録音することもできます。

・録音中にファンクションスイッチをスライドさせないでください。音源が切り換わり、他の音声が録音されます。

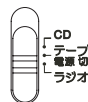
・本機はノーマルポジション（TYPE Ⅰ）対応です。ハイポジション（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPEⅣ）には対応していません。

ラジオ放送を録音する

ラジオ放送をカセットテープに録音することができます。

●録音レベルは音量とは関係ありません。

1 録音用のカセットテープを入れる。

テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。
録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

2 ファンクションスイッチを、ラジオに合わせる。

3 バンドスイッチを「FM/TV」または「AM」に合わせる。

4 録音したい放送局を選ぶ。（▶26、27ページ）

5 [●]を押す。
録音

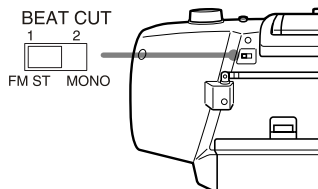
録音が始まります。

■ 録音をやめるときは

[■/⏏]を押します。
停止/取出し

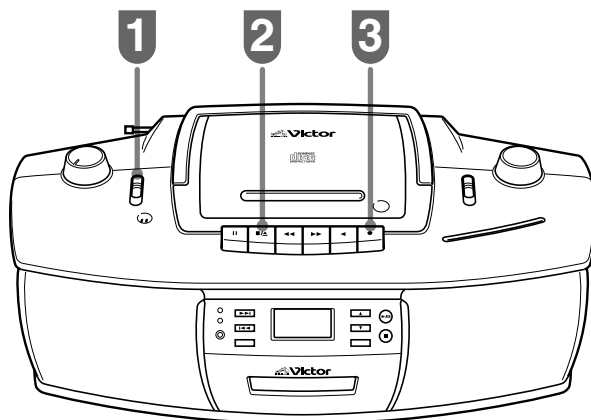
AM放送録音中に、ピーという音（ビート音）が気になるとき

本体背面のビートカットスイッチを切り換えます。

ピーという音（ビート音）が軽減される方を選んでください。

・録音中にファンクションスイッチをスライドさせないでください。音源が切り換わり、他の音声が録音されます。

内蔵マイクで音声を録音する

内蔵されているマイクで音声をカセットテープに録音することができます。

●録音レベルは音量とは関係ありません。

1 ファンクションスイッチを、テープに合わせる。

2 録音用のカセットテープを入れる。

テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。
録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

3 [●]（録音）を押す。

音は本体上面のマイクから拾います。ふさいだり、物を置いたりしないでください。

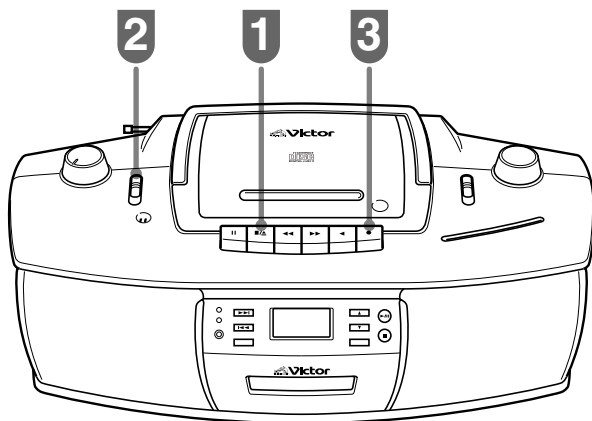
■ 録音をやめるときは

[■/▲]（停止/取出し）を押します。

お知らせ

・録音中にファンクションスイッチをスライドさせないでください。音源が切り換わり、他の音声が録音されます。

録音した内容を消去する（無音録音）

録音した内容を、消去（無音録音）することができます。

1 消去したいカセットテープを入れる。

2 ファンクションスイッチを、CDに合わせる。
CDトレイにCDが入っているときは取り出してください。

CD
テープ
電源 切
ラジオ
ファンクション

3 [●]（録音）を押す。

■ 無音録音をやめるときは

[■/⏏]（停止/取出し）を押します。

お知らせ

・消去中にファンクションスイッチをスライドさせないでください。音源が切り換わり、音声が録音されます。

録音する

故障かな？と思う前に

あれ?故障かな?と修理に出す前に、
もう一度確かめてください。

症状		原因	処置・確認のしかた	ページ
共通	音がでない。	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜いください。	8
CD (CD / MP3)	演奏が始まらない。	CDが裏返しになっている。	文字がある面が上になるように正しく入れてください。	12、18
		レンズに露がついている。	電源を入れたまま数時間待ち、乾いてからご使用ください。	6
	特定の箇所が正常に演奏できない。	CDにキズがある。	CDを交換してください。	34
	表示窓に演奏時間が表示されるが、音が出ない。	ビデオCD(VCD)を再生している。	演奏できるCDを使用してください。	34
テープ (テープ)	再生音が小さい。	ヘッドが汚れている。	ヘッドを清掃してください。	33
	(録音) を押せない。	カセットの誤消去防止用のツメが折れている。	セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。	36
ラジオ (ラジオ)	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	アンテナの調節が悪い。	アンテナを調節し直してください。また、設置場所を変えてください。	27
		テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離してください。	6
リモコン	リモコンが操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	新しい乾電池（単4形）と交換してください。	11
		リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	直射日光や照明器具などの強い光が当たらない場所で操作してください。	11

■ 上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。

- 本機の故障または不具合等により、録音・再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お手入れについて

末永くお使いいただくために、定期的なお手入れをお勧めします。

■ 本体の清掃

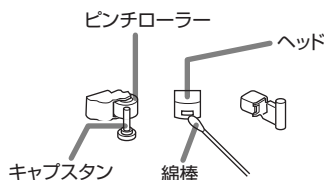
パネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけてふき、そのあとにからぶきしてください。

注　意

・シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり、表面の仕上げをいためることがあります。

■ テープデッキのヘッド部の清掃

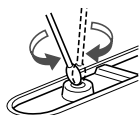
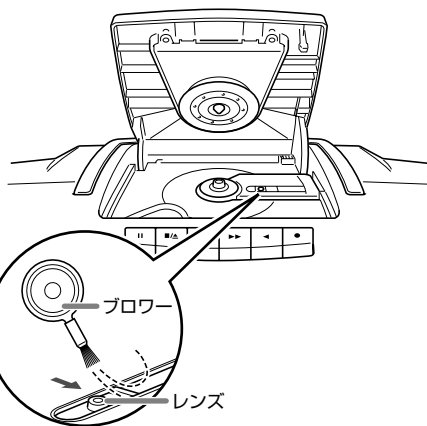
音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

市販のクリーニングキット（綿棒とクリーニング液）を使うと便利です。

ヘッドの消磁について

ヘッドが磁化されると、高音が聞こえにくくなったり、雑音が多くなったりします。このようなときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

■ CDプレイヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。
ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

万一、指紋などが付いているときは、綿棒で軽くふいてください。

CDについて

■ CDの取り扱いかた

使用できるCD

- 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable 、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

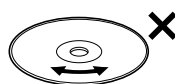
CD-R/CD-RWについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限りお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスク、およびMP3のデータを記録したCD-R/CD-RWが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- WMAには対応しておりません。

■ CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MP3ディスクについて

■ 再生できるディスクおよびファイル

- ISO9660フォーマットで記録されているディスク（パケットライト（UDFフォーマット）形式で記録されたディスクは不可）。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生可能。
- 「.mp3」の拡張子がついたファイル（大文字小文字が混在した拡張子も可）。

■ ディスクの構成

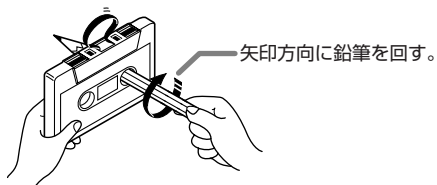
- 空のフォルダーは認識されません。
- フォルダーに入っていない曲はフォルダー1の曲として扱われます。
- 本機は、1枚のディスク内に最大511曲を認識できます。また、1枚のディスク内に最大255のフォルダー、各フォルダー内に最大511の曲を認識できます。これらを超えるものは認識できず、再生できません。またディスク内にMP3以外のファイルが含まれるとき、認識できる曲数が上記の数に満たないことがあります。

■ 知っておいて欲しいこと

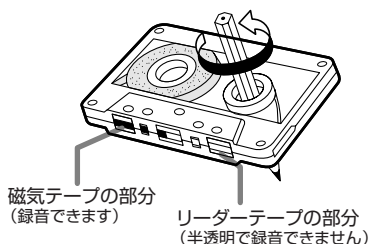
- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているフォルダーや曲の数によって、読み取り時間が異なります。
- 市販のMP3ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番とは異なって再生されることがあります。
- 静止画データの入ったMP3ファイル（曲）は再生に時間がかかることがあります。
- MP3ファイル（曲）は、サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたディスクを推奨します。
- MP3iおよびMP3PROには対応していません。

カセットテープについて

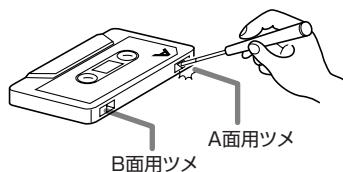
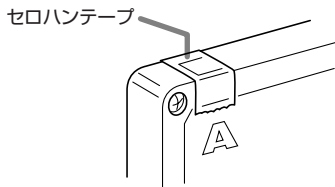
■ カセットテープの取り扱いかた

● テープに**たるみ**がある状態で本機にセットすると、本機に巻き込んだり故障の原因になります。使用する前に、図のようにしてテープの**たるみ**をとってください。

● C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。長い時間録音や再生ができて便利ですが、テープが伸びやすいため、機器内部に巻き込まれる原因となります。

リーダーテープについて

● テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。録音する前に、リーダーテープ部分を巻き取っておきましょう。

■ 大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ（タブ）がついています。

● ツメを折っておくと録音（消去）ができなくなり、誤って消してしまうことを防げます。

● 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

お知らせ

・本機はノーマルポジション（TYPE Ⅰ）対応です。ハイポジション（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPEⅣ）には対応していません。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

CDポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または38ページの「**ビクターサービス窓口案内**」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

32ページの「**故障かな?と思う前に**」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　―

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

・お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
・お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
・次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
　① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
　② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
・お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0405

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様

<CDプレーヤー部>

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル·ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

<チューナー部>

受信周波数	FM:76.0MHz～108.0MHz AM:530kHz～1,605kHz
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトコアアンテナ

<テープレコーダー部>

トラック方式	コンパクトカセット·ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
ヘッド	消去（マグネット） 録音·再生 コンビネーション×1
早巻時間	約150秒（C-60）
周波数範囲	ノーマルテープ:60Hz～10000Hz（JEITA）

<共通部>

スピーカー	10cm（丸形×2）、8Ω
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニ×1）、37mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω～1kΩ
実用最大出力	2W+2W（JEITA/AC）
電源	AC100V（50Hz/60Hz共用） DC12V（単1形乾電池×8）
消費電力	電源入時:15W AC OFF時:0W
最大外形寸法	幅440mm×高さ168mm×奥行241mm
質量	約3.0kg（電池なし）

・JEITAは電子情報技術産業協会の規格による数値です。

本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

別売のオプション品

・ヘッドホン：**HP-S35**　　・CDレンズクリーナー：**CL-CDLA**

■別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。
■この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
38ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話　(045)450-8950 FAX　(045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、37ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0605HMMMODMTS